

ワクチンロスゼロセンターの設置について

新型コロナウイルスのワクチン接種において、接種当日の急なキャンセルなどによるワクチンの余りの廃棄防止に向けた取組として、ワクチンの余りが発生した医療機関と接種を希望する市民とをつなげる「ワクチンロスゼロセンター」を設置します。

1 名称

ワクチンロスゼロセンター

2 運用開始時期・運用日

7月上旬開始予定（平日のみの運用とする。）

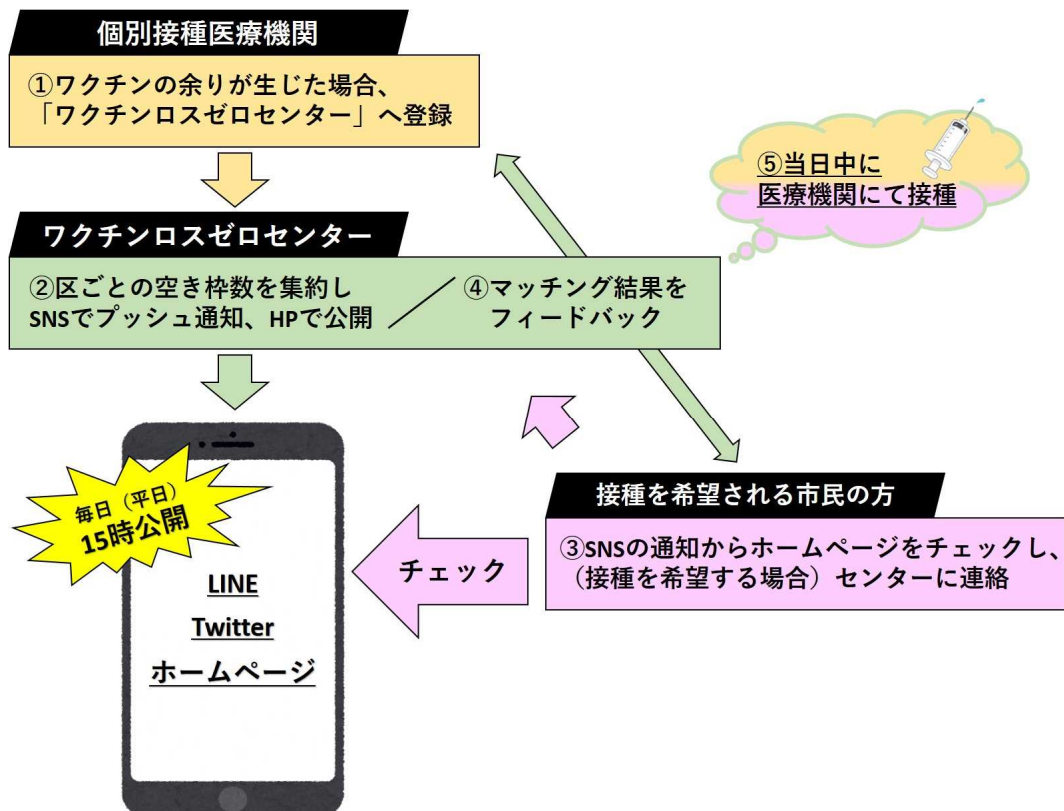
3 目的

個別接種医療機関における、被接種者の急なキャンセル等によるワクチンの廃棄を防止するとともに、接種希望者への接種の促進を図る。

4 1日の流れ

	時間	内容
①	9:00～14:30	医療機関からワクチンロスゼロセンターへの余剰分の登録
②	15:00～	公式LINE・Twitterによる余剰分のプッシュ通知、HPによる公表
③	15:00～16:00	接種希望者からの電話による予約受付
④	16:20 まで	医療機関へ予約結果の報告
⑤	当日中	接種希望者が医療機関を訪れ、ワクチンを接種

【イメージ図】



新型コロナワクチン 今後の接種券送付について

2021.6.25 保) ワクチン接種担当部

■現状

- 65歳以上の高齢者については接種券送付を完了（約55万6千人）
- 基礎疾患を有する方については6/17から登録受付を開始（6/24 17:00時点で約7万2千人）。登録が完了したのから順次接種券を送付。初回は6/30送付予定。

■今後の接種券送付について（方針）

- ①優先接種対象者を含む16歳以上64歳以下の市民に、7月13日（火）以降から接種券を一斉に送付（約120万人。数日に分けて郵便局持ち込み）
- ②まずは優先接種対象者の予約・接種を開始
 - ※すでに接種券をお持ちの高齢者・基礎疾患を有する方も予約・接種可能
- ③その後、各会場の予約状況を把握しながら、優先接種枠と並行して、64歳以下の方も年齢順に段階的に予約・接種開始
 - ※60歳以上64歳以下の市民の予約開始時期は7月下旬から8月上旬を想定

■一斉送付（接種券をお持ちいただくこと）の利点・目的

①市民・企業の利便性向上

- 順次拡大しつつある職域接種を実施するうえで、接種券があれば接種情報の管理がしやすくなりスムーズな実施につながるほか、市民にとって、国の大規模接種会場を利用するなどの選択も可能となる。

②接種の効率化・加速化

- 各会場の予約の空き状況に応じて予約可能年齢を予定より前倒しても、市民の手元に接種券があれば、ご自身が予約可能になったタイミングですぐに予約システムにアクセスできる。これにより予約枠のロスを減らし接種の効率化・加速化につながる。

③ワクチンロスの防止

- 医療機関において予約にキャンセルが生じた場合でも、接種券がある方に柔軟に接種することができるようになり、ワクチンロスの防止につながる。

■市民への周知

- 各年齢の予約開始時期については、プレスリリースなどによって十分周知する。

優先接種対象者の考え方

2021.6.25 ワクチン接種担当部

1 基本的な考え方

- ・クラスターリスクの防止、かつ、社会的機能維持の観点から、直接市民と接する業種を中心に優先接種対象者を選定

2 対象者（合計約 150,000 人）

①福祉施設・学校関係 約 122,000 人

- ・介護サービス従事者 約 17,000 人
- ・障がい者施設等従事者 約 52,000 人
- ・救護施設等従事者 約 1,300 人
- ・保育園・児童会館・児童養護施設等従事者 約 25,000 人
- ・教職員等（幼稚園、小、中、高、特別支援、各種学校）約 27,500 人

※15歳以下の児童が通学するものを優先接種対象とする。

※市立・道立・私立は問わない

②施術所従事者（保険請求対象となる医業類似行為） 人数精査中

- ・あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、柔道整復師

③感染症対策関連業務に従事する職員 約 500 人

※危機管理対策室、保健所、医療対策室、衛生研究所

※業務に関連する委託業者等を含む。

④公共交通機関関係 約 15,500 人

- ・地下鉄、市電運転手（指令所・車両整備・駅務員含む）
- ・バス運転手（運行管理、整備に関わる人員含む）
- ・タクシー運転手（運行管理、整備に関わる人員含む）

⑤警察関係 約 5,300 人

集団接種会場（つどーむ）の設置について

2021.6.25 保) ワクチン接種担当部

札幌市ではこれまでエルプラザ、札幌パークホテル、コンベンションセンターの3つの集団接種会場を設置しているところ。

さらに、接種能力の向上を図るため、4か所目の集団接種会場を「つどーむ」に設置。

1 所在地

東区栄町 885 番地 1

(地下鉄東豊線「栄町駅」から徒歩 15 分)

2 接種開始日

令和3年7月17日(土)

3 予約開始日

令和3年7月14日(水)を予定

4 予約枠

最終的には1日当たり最大3,000人を予定(詳細は決まり次第、あらためて周知)
通常の予約枠の他、優先接種対象者等の予約枠についても検討中

5 札幌市内のワクチン接種能力

○6月24日現在の接種数(実績)

区分	接種人数(回数)	総人口に占める接種率
1回目接種	347千人	17.5%
2回目接種	146千人	7.4%
合計(延べ接種数)	493千回	12.5%



つどーむ会場の稼働開始や職域接種・医療機関による個別接種の拡大により、接種能力を拡充


○8月末時点の接種可能数(見込み)

区分	接種人数(回数)	総人口に占める接種率
1回目接種	1,013千人	51.3%
2回目接種	815千人	41.2%
合計(延べ接種数)	1,828千回	46.2%

職域接種について

○職域接種

- 民間主体でワクチン接種を加速
- リスクの高い対象に早期接種可能
- 主に大規模事業者想定（1,000人規模以上）
- 中小事業者グループの実施には負担大
- 直近の状況：市内98事業者（グループを含む）が申請（6月24日現在）

- 
- 市として支援を要する対象
 - 今後の感染拡大防止の観点から効果的な対象
 - 実施にあたって負担が大きい中小事業者グループ 等
 - 事業者の取組が円滑に進むよう、側面支援を中心に実施

○現在の取組

- すすきの観光協会
- 札幌ホテル旅館協同組合・札幌市内ホテル連絡協議会・阪急交通社のグループ
- など、中小事業者グループに対して支援

東京 2020 大会における感染対策について

210625 ス) 国際大会担当部

1 5者協議(6/21)で合意された感染対策

- ・観客の上限：収容定員の 50%以内で1万人
- ・観客のガイドライン公表（マスクの常時着用、大声の禁止、分散退場、会場への直行直帰、都道府県をまたがる移動の注意点など）
- ・7月12日以降、緊急事態宣言またはまん延防止等重点措置が発動された場合は、無観客も含め措置内容に応じた対応を基本とする。
- ・ライブサイト及びパブリックビューイングの中止または規模縮小の方向で検討

2 組織委員会への要請と協議等の経過

(1) 要請

6月18日に北海道知事と連名で、組織委員会に対し、

- ・海外関係者の行動管理の徹底とその実効性のある管理監督
- ・国内の運営スタッフへのワクチン接種や検査等より安全性を高める感染防止対策
- ・札幌のコロナ対応体制に影響を与えない医療・検査・療養体制の構築などについて要請

(2) その後の協議等の経過

① マラソン・競歩における観客対応について

- ・「関係自治体と丁寧に調整し、早急に考え方を示す」との組織委員会会長の発言を受けて、組織委員会や北海道と協議を進める。

② 大会関係者へのワクチン接種について

- ・競技運営に直接かわる大会関係者に対しては組織委員会が実施。
- ・その他の関係者は職域接種での対応を検討中だが、サッカー競技が7/21から開始されるため、札幌市においても、都市ボランティアや札幌ドーム職員、選手ホテル従業員等、主にサッカー競技にかかる関係者に対し、一般市民分とは別枠で接種予定。

③ 医療ひっばく時の大会関係者の宿泊療養について

- ・選手等大会関係者が陽性となった場合の対応については、一般市民同様の扱いとするが、医療ひっばく時など、宿泊療養ホテルに空きがない場合は、陽性となった関係者が待機する場所（ホテルの部屋またはフロア貸切など）を組織委員会が確保する方向で検討。